



## 史料室だより

清泉女子大学史料室 Seisen University Archives

### No.19 「フウ」の木

#### 天然記念物指定書

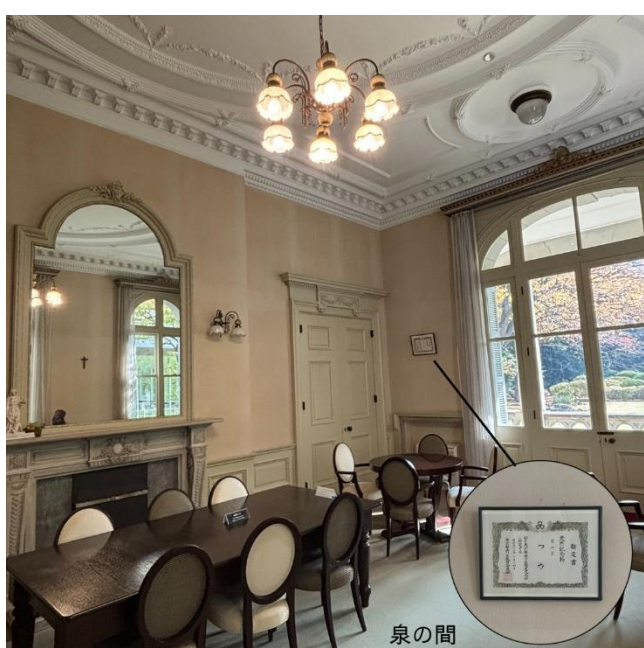


本学のシンボルツリーともいえる奥庭のフウの木は、紅葉の季節を迎え、秋晴れの日にはより一層美しく輝き、その黄金色の葉が奥庭の風景に彩りを添えてくれます。このフウの木は「指定書」によると今から 47 年前の 1982（昭和 57）年 2 月 14 日付にて品川区指定文化財の天然記念物に認定されています。

10 月に本館屋根裏倉庫を整理していたところ、このフウの木の天然記念物指定書が見つかりました。



管轄の部署では、2017（平成 29）年にフウの木を含めた大学構内の木々が品川区の保存樹林として指定された際に、フウの木の天然記念物としての指定は解除されたと認識していたようです。しかし史料室で確認したところ、天然記念物としての指定は解除されていないことがわかりましたので、この指定書を額に納め、多くの方の目に留まるように本館「泉の間」（聖堂向かい側の空間）の奥庭側の壁に設置することといたしました。



泉の間

なお、史料室にはその写しを展示しています。指定書は両面に記載がありますので、裏面（所有者に関する事項）をご覧になりたい方は史料室へお越しください。

本学のフウの木について品川区のホームページの「大崎地区の指定文化財」の箇所には次のような概要説明があります。

『マンサク科の落葉の高木で、外来樹の台湾フウ。幹周り約 3m20 c m（※1）、樹高約 15m（※2）、推定樹齢約 200 年（※3）。眺望のすぐれた庭園の中にそびえ、整然とした姿で景観を一層引き立てている。』

（<https://www.city.shinagawa.tokyo.jp/PC/sangyo/sangyo-bunkazai/sangyo-bunkazai-shitebunkazai/oosaki/index.html>  
2025 年 11 月 18 日アクセス）

※1 指定当時の記録には幹回り 3m とあり。本学保管の 2020 年品川区調査書類による幹回りは 3 m55 cm。

※2 2025 年 11 月に簡易な方法で樹高を計測したところ約 24m。（三菱製紙グループ「エコシステムアカデミー」の「木の高さを測る」で紹介されていた方法の一つの身長が判っている人と木を並べて写真撮影し、樹高が人の何倍あるかという方法で計測）

※3 2025 年 10 月の時点で推定樹齢 200 年。（2025 年 10 月 22 日 品川区庶務課文化財係回答）

天然記念物のフウの木については、清泉女子大学新聞部発行の学生新聞「ながれ」（1961-1966 発行）に、1965 年に掲載された記事があります。



## 「高尾もみじら三本 天然記念物指定」

本大学構内にある楓一本と椎の古木二本、計三本が東大名誉教授本田正次氏の推薦により、品川区の天然記念物に指定された。一昨年の第四回清泉祭の時、新聞部が“島津山の歴史”の中で紹介したように、この楓は、学名をマンサク科のフウという非常に珍しいものである。島津山が昔、伊達家の下屋敷であったので遊女高尾手植えの木だという伝説から俗に高尾もみじと呼ばれているが、実際には島津家が当地に庭園を整備した際に台湾より移植したものらしい。外来樹であるため数少なく、都内では、皇居、明治神宮内苑にあるのが知られているだけである。また、図書館側（※4）の椎は、大きさ、樹姿ともに立派で区内でも屈指のものである。品川区教育委員会では、これらの樹木に手厚い保護の加えられることを望んでいる。（「ながれ」第 13 号 昭和 40 年 3 月 14 日発行）

※4 記事が書かれた当時の図書館の位置は、現在の 1 号館 1 階と地下である。

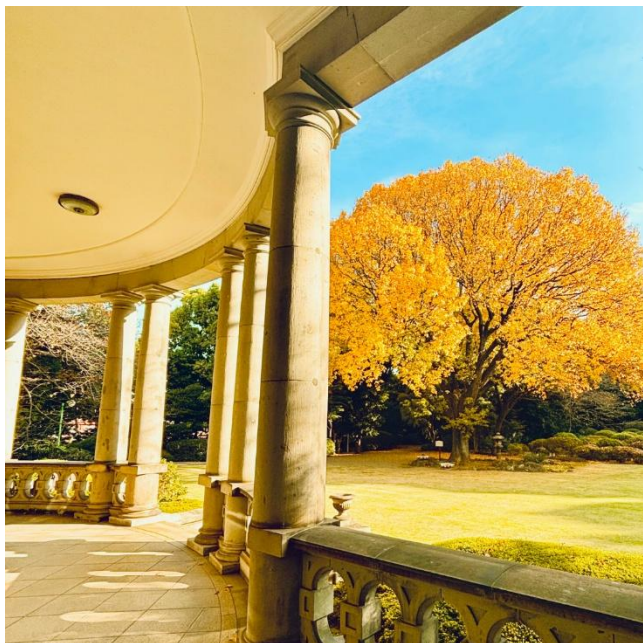
この記事から 1965（昭和 40）年当時、既にフウの木は品川区の天然記念物の指定を受けており、他に



椎の古木2本もその指定を受けていたということになります。

本学は1973（昭和48）に学校法人清泉女学院から独立し、学校法人清泉女子大学となったことから、当時の資料は学校法人清泉女学院本部に保管されている可能性もあります。また、現在の管轄部署は1971（昭和46）年に設置されており、天然記念物について確認できる文書は1978（昭和53）年からのものとなり、1965（昭和40）年の天然記念物指定に関する調査は困難を極めそうです。

この学生新聞「ながれ」の記事の裏付けをとる必要はありますが、フウの木の天然記念物としての指定は60年前に遡る可能性が出てきました。さらなる疑問として、一緒に天然記念物として指定された椎の古木とはどの樹木なのか、この記事を書かれた新聞部の卒業生の方からの情報をお持ちしています。



「史料室だより」は清泉女子大学公式インスタグラムにて連載中です。